

下関の1周タイムは3号艇に注目!

▼艇番&1周タイムランク別の1～3着回数

	1位	2位	3位	4位	5位	6位
1号艇	1,008回	411回	199回	115回	59回	33回
	1,149回	482回	244回	141回	80回	45回
	87.7%	85.3%	81.6%	81.6%	73.8%	73.3%
2号艇	224回	262回	230回	188回	133回	93回
	326回	425回	423回	365回	264回	192回
	68.7%	61.6%	54.4%	51.5%	50.4%	48.4%
3号艇	164回	203回	195回	205回	196回	141回
	219回	312回	352回	376回	378回	299回
	74.9%	65.1%	55.4%	54.5%	51.9%	47.2%
4号艇	111回	161回	171回	156回	136回	102回
	196回	281回	318回	335回	375回	308回
	56.6%	57.3%	53.8%	46.6%	36.3%	33.1%
5号艇	88回	102回	113回	85回	109回	101回
	187回	218回	278回	311回	370回	346回
	47.1%	46.8%	40.6%	27.3%	29.5%	29.2%
6号艇	76回	76回	79回	72回	60回	61回
	208回	226回	258回	306回	314回	368回
	36.5%	33.6%	30.6%	23.5%	19.1%	16.6%
総計	1,671回	1,215回	987回	821回	693回	531回
	2,285回	1,944回	1,873回	1,834回	1,781回	1,558回
	73.1%	62.5%	52.7%	44.8%	38.9%	34.1%

表の見方



※データは2023年
 10月12日～2024年
 10月12日を集計

1周タイムの研究を進めてみた

前回、オリジナル展示タイム(以下、オリ展)と着順の関係について場ごとの特徴を調査した。その結果、場によってオリ展の信頼度が異なること、そして1周タイムが参考になる場が多いことが分かっている。しかし、「どのように舟券に反映させればよいのか?」という問いに対しては、明確な答えを出すのは難しいのが実情だ。例えるなら、「早起きは三文の得」と言われても、具体的に何をすればその得が実感できるのかが曖昧な状態といえる。

そこで、今後の研究方針としては、「1周タイム」×「艇番別」の勝率や3連対率を調査しながら、舟券購入に活用する具体的な方法を模索することにした。特に、展示タイムの信頼度が低く、さらに企画番組(1号艇がA級選手で固定されるなど)が比較的少ない下関をターゲットに選んでいる。下関では展示タイムの影響が小さいため、別の要素が結果に影響を与える可能性が高く、データ分析の価値が高いと考えている。また、企画番組が少ないことで、純粋にデータの検証を進めやすい環境であることも選定理由のひとつだ。

3号艇がアチチ?!

今回集計したデータは、「1周タイム順位」と「3連対率」を艇番別にクロス集計し、過去1年間のデータを独自に分析したものである。このデータでまず注目すべきは、3号艇が1周タイム1位だった場合の結果だ。このときの3連対率は74・9%と非常に高く、1号艇には及ばないものの他の艇よりも安定感があることが分かる。

一方で、5号艇と6号艇のデータも興味深い結果を示している。1周タイム順位が6位だった場合と1位だった場合では、3連対率が約2倍に変動しており、タイムが良い場合には舟券に絡む可能性が一気に高まることが分かる。総件数から見るとかなりレアケースではあるが、この特徴は覚えておきたいところだ。

総じて今回のデータは、1周タイムが結果に与える影響を改めて裏付ける内容となっている。3号艇は安定して上位に絡む期待が高い一方で、5号艇や6号艇はタイムの良さを判断材料に加えることで、思わぬ高配当を狙える可能性があることが示されている。今後は選手の勝率と1周タイムの相関関係を調査しつつ、「マクルール1周タイムシステム」として舟券に落とし込んだ活用方法をさらに模索していきたい。